



NO.7
2025年 春号

2025年度 一般会計当初予算 総額3兆505億円!

北海道議会は、2月19日～3月18日までの会期で、第1回定例道議会が開催されました。本定例会において、2025年度の一般会計当初予算は、総額3兆505億円余、24年度の追加補正予算328億円などを議決しました。鈴木知事は、今期の道政執行方針について、『北海道のポテンシャルをかたちに』、『地域の力を高める』などの視点のもとで道政運営を進めることなどを提案しました。

わたくしは、1月16日に開催された第1回臨時道議会において、会派を代表して本会議登壇(表裏面の写真参照)し、知事の見解を質したことに加え、本定例会では、3月11日から始まった予算特別委員会において、①知事の政治姿勢、②人口減少対策、③北海道新幹線開業に伴う様々な課題対策、④地域公共交通対策、⑤包括外部監査対策、⑥生活困窮者自立支援事業対策、⑦社会的養護自立支援「拠点事業」対策、⑧しょうがい者支援対策などに大別して道庁所管部にそれぞれの見解を質しました。引き続き、私は自らの政治信条である「命を守る政策」を第一義に、2025年度も本道の「食と農と環境」を守り抜く様々な取り組みに全力を尽くしてまいります。また、3月15日には、わたくしの「道政報告会」が開催することとなりました。時節柄、何かとお忙しい中でご臨席頂ける皆さまに深い感謝とお礼を申し上げます。皆さま、いつも本当にありがとうございます。

新年度が始まりますが、この先も、皆さまの生の声を頼りに、道議会議員としての活動を展開してまいります。



日々の活動をSNSでも発信中です!



北海道議会
「会議録」検索



清水たかひろ
ホームページ



清水たかひろ
Facebook



清水たかひろ
Instagram

新年度の取組と予算の概要

● 総合防災体制整備費 → 2億6,800万円

防災訓練や防災教育、避難所用備蓄物資の充実等(簡易ベッド、シェルターテント、トイレコンテナ、水循環シャワー等)避難所環境改善敷材整備への支援。

私の考え

熊本地震・能登地震では、死者数の半数以上が避難後に亡くなる、災害関連死が占めています。国際基準(スフィア基準)に基づいた避難所用備蓄をすすめることが重要です。



● 医療需要等の変化を踏まえた 医療機関支援等事業費 → 23億8,400万円

出生数や患者の減少等を踏まえた医療機関(分娩数が急減している医療機関、患者数が急減している小児中核病院、病床数の適正化を進める医療機関)の運営費に対する支援。

私の考え

少子化が進む中、「こどもがまんなか社会」の実現には、不採算医療と言われる周産期・小児の医療機関を守ることが重要です。併せて、誰もが安心して暮らせる地域に向け、10年20年先の地域医療の議論を進めます。



● 新基本計画実装・農業構造転換支援事業費 → 180億5,300万円

農業の構造転換の実現に向け、老朽化した共同利用施設の再編集約・合理化を促進するための農業者団体等が行う施設整備に対する支援。

※道上乘せ品目(小麦・大豆・馬鈴しょ・てん菜)

私の考え

食料安全保障の重要性が高まる中、日本の食糧基地北海道が、安心・安全で良質な食料を安定的に生産できる対策が必要です。食料需給率の向上に向け議論を進めます。



「こどもまんなか社会」の実現

日本が「子どもの権利条約」を批准してから30年を迎えました。今、全国の自治体では「子どもの権利」に関する条例が議論されています。北海道議会においても、子どもたちが健やかに成長できる社会の実現に向け、今定例会で「こども基本条例」が提案・議決されました。今後は条例に基づき、「子どもの権利」に関する理解を社会全体で深めていく必要があります。



物価高騰対策補正予算(1/16)

●牛乳券 お米券

- 対象 子育て世帯(18歳以下の子どもを養育する父母等)
- 内容 4~6月
- 申請 5,000円相当の商品券



●LPガス料金値引き

- 対象 LPガス販売事業者
- 内容 3~6月の期間中、事業者が消費者に対し1契約当たり2,000円値引き



写真で見る これまでの道政活動



▲手稲区「二十歳のつどい」



▲手稲山「地すべり防止対策」など道政課題のヒアリング



▲食ロス削減議員条例案提示における議長との意見交換



▲食ロス削減条例に伴う「エコプラザ多摩」視察



▲食料自給の確立を求める自治体議員連盟「農水省要請」



▲北海道食品ロス削減推進条例案「議長提示」



▲2025年度当初予算に関する「知事要請」



▲第1回臨時道議会「代表質問」登壇



▲第1回臨時道議会：公共交通政策質疑

しみずたかひろ

清水敬弘プロフィール

- 1975年2月4日：オホーツク管内斜里郡清里町で農業を営む両親の長男として生まれる。高校卒業まで、夏は陸上競技、冬はスピードスケートを続け、心身を鍛える。
- 1996年：北海道立農業大学校を卒業後、1年間ドイツ(ヘッセン州ノイホフ)に農業留学。幅広い農業知識と国際的感覚を身につける。帰国後、就農する。
- 2000年：結婚(現在 娘22歳、息子18歳)
- 2008年：農業団体職員(北見市)
- 2018年：参議院議員 公設秘書(札幌市)
- 2023年：北海道議会議員 初当選
- 所属：(常任)農政委員会 理事
(特別委員会)産炭地域振興・エネルギー調査委員会 理事
会派：民主・道民連合 副幹事長



皆さまのご意見、
地域の課題を
お寄せください。



清水敬弘道政事務所

〒006-0022
札幌市手稲区手稲本町2条4丁目1-5 緑稜館
TEL:011-213-8888
FAX:011-213-8841
E-mail:info@shimizu-takahiro.net